釧路教育　323

令和８年６月

発行／釧路市教育委員会　学校指導課　釧路教育研究センター

〒０８５－００１６　釧路市錦町２丁目４番地　Tel (0154)23-5189　Fax (0154)25-5999

巻頭言

「誰一人置き去りにしない」学びの場を
～子供たちの未来を紡ぐために～

釧路市教育委員会　教育指導参事　本川　敬一

新年度のスタートから２ヶ月が経過しました。学校訪問等で先生方の奮闘を拝見し、子供たちの輝く姿に触れるたび、釧路市の教育の確かな息吹と可能性を実感しています。chromebook の日常的な活用をはじめ、試行錯誤しながら「子供が主役」の授業を模索されている先生方の熱意に、心から敬意を表します。

私たちが長年取り組んできた「学力向上」と「授業改善」の歩みは、確実に前進しています。しかし、全体の底上げという一定の成果がある中で、今一度大切にしたいのは「すべての子供たちへの視点」です。どの学級にも、多様な背景や学びのつまずきを抱える子供たちがいます。「誰一人置き去りにしない教育」の具現化こそが公教育の使命であり、授業改善のゴールです。形式的なＩＣＴ活用や、目的の見えない話合い活動に陥ってはいないか。その学びは、本当に目の前の子供の思考を揺さぶり、深めているのか。教師が「教える」こと以上に、子供たちが「問い」をもち、協働しながらも、自ら考え抜く時間をどれだけ保障できているかを、今一度先生方と共に問い直したいと考えます。

さらに、釧路市は昨年度から「ふるさとキャリア教育」の推進を重要な柱に掲げました。これは単なる職業観の育成にとどまりません。ふるさと釧路の自然、歴史、文化、そして人々に触れ、地域への愛着と誇りを醸成する。その上で、子供たちが自分自身の生き方と地域社会の未来を重ね合わせ、主体的にキャリアを形成する力を養う教育理念です。釧路というこの地で育つことの豊かさを、授業や地域学習、探究を通じて深く実感させること。それが、結果として子供たちの郷土への帰属意識を高め、未来の地域社会を担う人材育成に繋がっていくと確信しています。

同時に、私たちが正面から向き合うべき「不登校対策」や「いじめの根絶」も、授業改善と切り離されたものではありません。これらは車の両輪であり、どちらも欠かすことのできない、互いによい相乗効果を生み出す重要な要素です。

すべては、子供たちが「教室は安心できる場所だ」と感じられる環境づくりから始まります。子供の些細なＳＯＳを見逃さない感性、一人一人の個性と頑張りを認め、自己肯定感を高める積極的・支持的な生徒指導。この「子供に寄り添う姿勢」こそが、学力向上を支える最強の基盤であり、学びが深まる教室環境を創り出す鍵だと思います。

釧路市の教育は、道内公立初の学びの多様化学校「くしろ創明学園」や義務教育学校の開校をはじめ、新たなステージへと大きく舵を切りました。ハード・ソフトの両面で環境は整いつつありますが、その価値を最大限に引き出すのは、現場の先生方の情熱です。どうか一人で抱え込まず、校内のチーム力、そして小中連携という絆を力一杯活用してください。先生方が笑顔で挑戦し続ける姿こそが、子供たちにとって何よりの道標となります。子供たちの未来のため、そしてこの釧路市の未来のために、学校現場と釧路教育研究センター並びに釧路市教育委員会が互いの絆を力に変えて、共に歩みを進めてまいりましょう。

■「釧路教育」第３２３号　contents■

１	巻頭言	教育指導参事（釧路教育研究センター所長）の巻頭言です。
２	研究グループの紹介	釧路教育研究センター研究グループ　今年度の活動紹介です。
３	釧路教育研究センター機構図	令和８年度釧路教育研究センターの運営体制の紹介です。

釧路教育研究センターでは、北海道及び釧路市における教育目標と教育推進の具現のため、３つの研究グループを設置し、実践的な研究・調査を進めています。今回は、各研究グループの活動について紹介いたします。

学習指導･開発研究グループ



学習指導・開発研究グループは、「各種学力調査の分析結果を踏まえた授業公開と研究協議を通して、各教科における指導の在り方について研究し、その成果を発信すること」を目的に、１か年計画で研究を進めております。

今年度も昨年度に引き続き、令和７年度全国学力・学習状況調査及び釧路市標準学力検査の結果から、国語科と算数・数学科の課題が見られた内容に焦点を当てて授業づくりを行い、提案授業として先生方に紹介させていただきたいと考えております。今年度は、国語科及び算数・数学科の２教科で、計３本の授業を公開する予定です。また、ＩＣＴの効果的な活用や、「生成ＡＩ利活用ガイドブック」の策定に向けた情報収集にも取り組んでまいります。

先生方の日々の授業実践にお役立ていただけるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

学習指導・開発研究グループ委員　工藤　拓郎（鳥取西中学校）

担当講座	期　日	会場
国語科教育の充実 助言者：藤森　美由紀（釧路市立幣舞中学校　校長）	１０月２０日（火）	大楽毛学園
算数科教育の充実 助言者：早勢　裕明（北海道教育大学釧路校 教授）	７月１７日（金）	愛国小学校
国研学力調査官「示範授業」に学ぶ全国学調を踏まえた数学科授業の在り方 助言者：赤本　純基（釧路市教育委員会　学校指導課　指導主事） 講　師：島尾　裕介（国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部　教育課程調査官　学力調査官）	１１月２７日（金）	鳥取西中学校

※申込は終了していますが、新たに参加を希望する方は、釧路市教育委員会　学校指導課宛ご連絡ください。

●参考…令和７年度発行資料

【国語科授業づくりリーフレット】

釧路市標準学力検査の結果を踏まえ、児童生徒がつまずきやすい「説明的な文章の内容を読み取る」内容に焦点を当てています。小学校では学んだことが中学校の学習へどのようにつながるか、中学校では小学校での学びをどのように生かすかを見通し、９年間を通した国語科指導のポイントや授業づくりのヒントを具体的にまとめました。説明的な文章における「精査・解釈」の力を育成するための系統的な指導内容や、学年ごとの重点指導事項を掲載しています。

国語

【算数・数学科授業づくりリーフレット】

中学校１年生数学科「文字式」において課題が見られる原因の１つとして、「文字式の四則混合計算を学習する際に、小学校で学習した内容とうまく接続できていない可能性がある」と考えました。小学校での学習内容を中学校の学習に円滑に接続することができるよう、小学校４年生算数科「計算のきまり」、中学校１年生数学科「文字式」の具体的な板書例や授業での指導ポイントを紹介しています。

数学

日々の授業準備はもちろん、校内研修や小中連携研修会など、よりよい授業づくりを協議する際の資料としてご活用ください。

子ども支援研究グループ



子ども支援研究グループは、「釧路市内各校における子ども支援に関する課題」を踏まえ、「教育相談・保護者対応」や「カウンセリングの考え方や方法」、そして、「学級経営に関わる理論と実践方法」など、多岐にわたり研究し、その成果を発信することを目指しています。

昨年度は「発達支持的生徒指導」に基づく指導の在り方について研究し、その具体的な手立てとして「行動目標チャート」を作成いたしました。チャートを通じて子供たちが自ら目標を立て、自己決定を繰り返す姿は、まさに生徒指導の基盤となる自己有用感の育成につながるということを深く実感したところです。

今年度は、「個」へのアプローチをさらに確かなものにするため、その土台となる「学級経営」を研究のメインテーマに据えて進めてまいります。令和４年に改訂された「生徒指導提要」では、発達支持的生徒指導を「全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるもの」と定義しています。「全教職員で全児童・生徒を支える」という考えをキーワードに、先生方が日常的に行っている学級経営の中における発達支持的な働きかけを、さらに言語化、可視化、体系化していきます。昨年度の研究と学級経営の理論を融合させ、「明日からでもすぐに実践できる事例研究」として発信していきます。

１年間という限られた時間の中ですが、現場の先生方のニーズを大切にしながら、日々の教育活動の一助となるような研究を進めてまいります。皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

子ども支援研究グループ委員　髙瀬　慎史（鳥取小学校）

郷土読本･地域学習研究グループ



郷土読本・地域学習研究グループは、子供たちの自己実現を図り、地域社会に貢献する意識を育むために、ふるさとキャリア教育を核とした「総合的な学習の時間」における探究的な学びの在り方について研究しています。また、関係機関と連携し、郷土読本「くしろ」の内容について検討を行っています。

昨年度までは、子供たちの体験活動を充実させる「ひと・こと・ものリスト」の作成や、釧路湿原をテーマにした教材開発・授業実践、９年間を見通した総合的な学習の時間のカリキュラム作成を進めてまいりました。

その中で、子供たちが「ふるさと釧路」の価値を見いだしていくには、地域の「ひと・こと・もの」と深く関わり、自ら問いをもち続けながら学ぶことが重要だと実感したところであります。

今年度は、総合的な学習の時間の本質である「探究的な学びの過程」に主眼を置き、現在釧路市内各校で見直し・実践が進む「ふるさとキャリア教育」と結び付けながら、子供自身が「探究のサイクル」を回し続ける授業の在り方について研究を進め、その成果を発信していきます。

「郷土読本紙面の改訂」については、これまでも内容の加筆修正ならびにロイロノートの資料箱のデジタルデータの更新を行ってきました。資料箱には、紙面データや各種資料が収録されています。右に、活用方法についてまとめた動画のＱＲコードがありますので、ご参照ください。今年度も内容を精査し、子供たち・先生方が授業で活用しやすい郷土読本を目指し、改訂作業を進めてまいります。

資料箱活用方法

釧路の子供たちが、ふるさと釧路の魅力に気付き、まちをよりよくしたり、貢献したりしようとする当事者意識を育んでいくために、研究を推進してまいります。グループ委員一同尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

郷土読本・地域学習研究グループ委員　江渡　明香（清明小学校）

研究センター
機構図



教育長

岡部　義孝

釧路教育研究センター
運営審議会



教育指導参事

本川　敬一



学校教育部長

澤口　理絵

学校指導課長・指導主事



学校指導課長

大島　重光



総括指導主事

畠山　和彦



指導主事

宮原　美里



指導主事

赤本　純基



指導主事

佐藤　義人



指導主事

寺嶋　純哉



指導主事

久末　卓矢



指導主事

稲垣　宏治

研究グループリーダー



学習指導・開発
研究グループ担当

工藤　拓郎
（鳥取西中学校）



子ども支援
研究グループ担当

齋藤　政人
（幣舞中学校）



郷土読本・地域学習
研究グループ担当

鶉橋　大志
（青葉小学校）

学習指導・開発 研究グループ委員	子ども支援 研究グループ委員	郷土読本・地域学習 研究グループ委員
本川　莉帆 （愛国小学校）	髙瀬　慎史 （鳥取小学校）	江渡　明香 （清明小学校）
工藤　智也 （鳥取西小学校）	鈴木　貴子 （鶴野小学校）	大城　卓也 （美原小学校）
関口　　愛 （興津小学校）	片桐　一成 （北中学校）	小林　　太 （青陵中学校）
早川　将光 （共栄中学校）	谷口　友彰 （鳥取西中学校）	高木　優人 （桜が丘中学校）
関川　優司 （景雲中学校）		
工藤　夏希 （大楽毛学園）		